◎届出書作成について、事業場毎に使用物質等が異なります。この記入例を参考にして作成してください。

様式第八（第十条関係）

記入例

特 定 施 設 の 構 造 等 変 更 届 出 書

〇〇〇〇年　〇月　〇日

福山市上下水道事業管理者　様

申請者

住　所　福山市〇〇町×番△号

電話番号　(084)953-1599

名前又は法人にあっては
その名称及び代表者の名前　福山株式会社
代表取締役　福山　太郎

下水道法第１２条の４（下水道法第２５条の３０第１項において準用する同法第１２条の４）の規定により、特定施設の構造等の変更について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	〇〇株式会社　第１工場	※整理番号	
工場又は事業場の所在地	福山市〇〇町×番△号	※受理年月日	年　月　日
特定施設の種類	67　洗たく業の用に供する洗浄施設	※施設番号	
△特定施設の構造（特定施設の使用の方法，汚水の処理の方法，下水の量及び水質，用水及び排水の系統）	別紙のとおり。	※審査結果	
		※備考	

備　考

1　△印の欄の記載については，別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。

2　※印の欄には、記載しないこと。

3　変更のある部分については、変更前及び変更後の内容を対照させるものとすること。

4　届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格Ａ４とすること。

別　紙

届　出　の　概　要

特定施設の設置・変更	67　洗たく業の用に供する洗浄施設 No.1　水洗機の使用洗剤量および水量の増加
排水処理施設設置・変更	沈殿槽の更新（老朽化による）
備考	下水道への排水量が 10（㎥／日）→17（㎥／日）に変更となる。 （日最大は 12（㎥／日）→20（㎥／日）に変更。）

別紙　1

特　定　施　設　の　構　造

1　特定施設の型式、構造、主要寸法及び能力

変更前・変更後区分	変更なし	
特定施設の種類	67　洗たく業の用に供する洗浄施設	
施設番号又は名称	No.1　水洗機	
型式	別添第 1 - 1 図のとおり	
構造	別添第 1 - 1 図のとおり	別添第　　図のとおり
主要寸法（m）	縦 2.8 ×横 1.8 ×高さ 2.2	縦　　×横　　×高さ
能力（1日当たり）	40～50 kg／回	
能力の内容	一回の洗濯量	
参考事項	※カタログ添付で可	

2　当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置

別添第　　図のとおり

3　特定施設に係る工事の着手及び完成の予定年月日並びに特定施設の使用開始の予定年月日

変更前・変更後区分	変更なし	
施設番号又は名称	No.1　水洗機	
工事着手予定年月日	○○○○年　○月　○日	年　月　日
工事完成予定年月日	○○○○年　○月　○日	年　月　日
使用開始予定年月日	○○○○年　○月　○日	年　月　日

4　その他特定施設の構造について参考となるべき事項

別紙２－１

特 定 施 設 の 使 用 の 方 法

１　特定施設の設置場所

別添第　　図のとおり

２　特定施設を含む操業の系統

別添第　　図のとおり

３　特定施設の使用時間間隔及び１日当たりの使用時間並びにその使用に季節的変動がある場合には、その概要

変更前・変更後の区分		変更なし	
特定施設の種類		67　洗たく業の用に供する洗浄施設	
施設番号又は名称		No.1　水洗機	
使用方法	使用時間	時～　時　時間／日	時～　時　時間／日
	使用時間間隔	時間／回　回／日	時間／回　回／日
季節的変動の概要			

４　特定施設を含む作業工程において使用する原材料（消耗資材を含む）の種類、使用方法及び１日当たりの使用量

作業工程名

原材料名	使用方法		１日当たりの使用量（kg／日）
	成分（%）	使用目的	
洗剤		洗濯	1.2
デスターチ		〃	0.8
バイオ		〃	0.5
参考事項			

別紙２－２

５　特定施設の使用時において当該特定施設から排出される汚水等の汚染状態の通常の値及び最大の値並びに当該汚染等の１日当たりの通常の量及び最大の量

変更前・変更後の区分		変更前		変更後	
施設番号又は名称		No.１　水洗機		No.１　水洗機	
区分		通　常	最　大	通　常	最　大
使用水量（㎥／日）		8	10	15	18
排出される汚水等の量（㎥／日）		8	10	15	18
汚水等の水質	ｐＨ（水素指数）	5.8～8.6		5.8～8.6	
	ＢＯＤ（mg／ｌ）	300	300	300	300
	ＳＳ　（mg／ｌ）	200	200	200	200
	窒素　（mg／ｌ）	100	100	100	100
	りん　（mg／ｌ）	10	10	10	10
汚水等の排出先		沈殿槽		沈殿槽	
参考事項					

備考　「汚水等の水質」の欄には，この表に掲げる項目だけでなく，当該特定施設の設置する工場又は事業場の排出水に係る排水基準が定められている項目についても記載すること。

６　その他特定施設の使用の方法について参考となるべき事項

別紙３－１

汚 水 等 の 処 理 の 方 法

１　汚水の処理施設の設置場所

別添　　図のとおり

２　汚水の処理施設に係る工事の着手及び完成の予定年月日並びに使用開始の予定年月日

変更前・変更後の区分	変更前	変更後
施設番号又は名称	沈殿槽	沈殿槽
工事着手予定年月日	年　月　日	○○○○年　○月　○日
工事完成予定年月日	年　月　日	○○○○年　○月　○日
使用開始予定年月日	年　月　日	○○○○年　○月　○日

３　汚水の処理施設の種類、型式、構造、主要寸法及び能力並びに汚水等の処理の方式

変更前・変更後の区分	変　更　前	変　更　後
施設番号又は名称	沈　殿　槽	沈　殿　槽
汚水の処理施設の種類	物理処理	物理処理
型　　式	自 社 製	自 社 製
構　　造	別添第　　図のとおり	別添第　3　図のとおり
主　要　寸　法（ｍ）	縦3.0×横1.5×高さ2.2	縦4.0×横2.0×高さ2.3
処理能力（１日当たり）	30 ㎥	40 ㎥
汚水の処理の方式	物理方式	物理方式
参　考　事　項		

４　汚水の処理の系統

別添　　図のとおり

５　汚水の集水及び汚水等の処理施設までの導水の方法

別紙３－２

６　汚水の処理施設の使用時間間隔及び１日当たりの使用時間並びにその使用に季節的変動がある場合には、その概要

変更前・変更後の区分		変更なし	
施設番号又は名称			
使用方法	使用時間	時～　時　時間／日	
	使用時間間隔の概要	時間／回　回／日	
季節的変動の概要			

７　汚水の処理施設において中和、凝集、酸化その他反応の用に供する消耗資材の１日当たりの用途別使用量

変更前・変更後の区分		
施設番号又は名称		
消耗資材の名称		
成分（％）		
使用量（kg/日）		
用途		
参考事項		

８　汚水の処理によって生ずる残さの種類及び１月間の種類別生成量並びにその処理の方法の概要

変更前・変更後の区分	変更前	変更後
施設番号又は名称	沈殿槽	沈殿槽
残さの種類	汚泥	汚泥
生成量（t/月）	0.01	0.02
処理の方法の概要	産廃業者で焼却処分	産廃業者で焼却処分
参考事項		

別紙３－３

９　汚水の処理施設の使用時における当該汚水の処理施設による処理前及び処理後の汚水の汚染状態の通常の値及び最大の値並びに当該汚水の１日当たりの通常の量及び最大の量

変更前・変更後の区分		変更前				変更後			
施設番号又は名称		沈殿槽				沈殿槽			
項目＼区分		処理前		処理後		処理前		処理後	
		通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
流入又は排出される汚水等の量（㎥／日）		9	11	9	11	16	19	16	19
汚水等の水質	ｐＨ（水素指数）	5.8～8.6		5.8～8.6		5.8～8.6		5.8～8.6	
	ＢＯＤ（mg／ｌ）	300	300	150	200	300	300	150	200
	ＳＳ（mg／ｌ）	200	200	50	100	200	200	50	100
	窒素（mg／ｌ）	100	100	50	80	100	100	50	80
	りん（mg／ｌ）	10	10	5	8	10	10	5	8
汚水等の排出先		総合排水口				総合排水口			
参考事項									

備考　「汚水等の水質」の欄には、この表に掲げる項目だけでなく、当該特定施設の設置する工場又は事業場の排出水に係る排水基準が定められている項目についても記載すること。

１０　排出水の排水の方法（排水口の位置及び数並びに排水先を含む。）

ポンプアップにより総合排水口へ送る

１１　その他汚水の処理の方法について参考となるべき事項

No.１水洗機の排水およびボイラー温調用水が沈殿槽に入る

別紙４

下 水 の 量 及 び 水 質

１　当該特定施設を設置する工場又は事業場の排水口における排出水の汚染状態の通常の値及び最大の値

変更前・変更後の区分		変更前		変更後					
排水口名		総合排水口		総合排水口					
区分／項目		通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
排水量（㎥／日）		10	12	17	20				
排出水の水質	ｐＨ（水素指数）	5.8～8.6		5.8～8.6					
	ＢＯＤ（mg／l）	300	300	150	200				
	ＳＳ（mg／l）	200	200	50	100				
	窒素（mg／l）	100	100	50	80				
	りん（mg／l）	10	10	5	8				
排出水の排出先		公共下水道							
参考事項									

備考　「排出水の水質」の欄には、この表に掲げる項目だけでなく、当該特定施設を設置する工場又は事業場の排出水に係る排水基準が定められている項目についても記載すること。

２　その他排出水の汚染状態について参考となるべき事項

別紙５

用 水 及 び 排 水 の 系 統

１　工場又は事業場における用水及び排水の系統

別添第　　図のとおり

２　用水の種類及び用途別使用量

（単位　　m^3／日）

種別／用途		工業用水	上水	河川水	地下水	海水	回収水（循環水）	その他	計
原料用水									
製品処理用水・洗浄用水			10.0 (13.0)		5.0 (5.0)				15.0 (18.0)
冷却用水	間接								
	直接								
ボイラー温調用水			1.0 (1.0)						1.0 (1.0)
生活用水			1.0 (1.0)						1.0 (1.0)
計			12.0 (15.0)		5.0 (5.0)				17.0 (20.0)

別紙　6

参　　考　　資　　料

1　工場又は事業場周辺の見取図

別添第　　図のとおり　　※設置届と同様

2　工場又は事業場における建築物、施設などの配置図

別添第　　図のとおり　　※設置届と同様

3　工場又は事業場全体の操業の系統

別添第　　図のとおり　　※設置届と同様

4　工場又は事業場全体の特定施設の種類及び数

（設置又は変更後の種類及び数を記入すること）

号　番　号	名　　称	数
67	水洗機	1

5　主要製品名及びその主原料

主　要　製　品　名	主原料及び使用量（１日当たり）
洗濯物	500kg

6　その他参考事項

工場又は事業所の敷地面積	4000 ㎡	常時使用する従業員数	10 人
工場又は事業所の建物の延べ面積	2000 ㎡	操　業　時　間	8 時間
資本の額又は出資の総額	2000 万円	用　途　地　域	工業用地